

主 なる 出来 事

2012年7~9月

	三重・愛知	全国・海外
7月	<p>フォーカス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人三重県産業支援センター会長に、紀北町出身の西田厚聡・東芝会長が就任。民間からの起用は、奥田碩・トヨタ自動車会長(当時)以来6年ぶり。(7/10) ●三重県は、企業訪問や有識者会議を踏まえた「みえ産業振興戦略」を策定。この戦略をベースに、新産業の開拓など、今後の産業政策を展開していく方針。(7/13) ●三重県と台湾の台日産業連携推進オフィス(TJPO)が、2地域間の情報交換やビジネスマッチング支援の推進を目的に産業連携覚書を締結。(7/13) ●愛知県は、倉庫型ディスカウントストアを運営する米コストコホールセールの日本法人と、中部臨空都市への進出にかかる協定を締結。2013年の開業予定。(7/23) ●三重県が申請していた「みえライフイノベーション総合特区」を、国が地域活性化総合特区として指定。県内における医療関連産業の発展などに繋げる狙い。(7/25) 	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど自然の力を利用した再生可能エネルギーの普及を目的に、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が開始。(7/1) ●関西電力が、大飯原子力発電所(福井県)3号機を再稼働。福島原発事故を受け、2012年5月に国内全ての原発が稼働停止して以来、57日ぶり。(7/1) ●スイスにある欧州原子核研究機構(CERN)が、物質に質量を与える素粒子として考えられてきた「ヒッグス粒子」とみられる新粒子の発見を公表。(7/4) ●九州北部を中心に豪雨が発生。熊本県阿蘇市では、最大1時間降水量が108.0ミリ、最大24時間降水量が507.5ミリと観測史上1位を更新。(7/11~14) ●英ロンドンで第30回夏季オリンピックが開催。日本勢は合計38個のメダルを獲得し、2004年のアテネ大会を超える過去最多に。(7/27~8/12)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●式年遷宮の意義や社殿造営の技術などを継承するため、伊勢神宮・外宮内に開設された「式年遷宮記念 せんぐう館」が入場者数10万人を突破。(8/6) ●四日市市が、四日市公害などをテーマとした資料館「四日市公害と環境未来館」を市立博物館内に設置することを決定。2014年度内に開館する見込み。(8/21) ●大手物流企業の東海運(東京都)が津市に建設していた植物工場「AZUMA FARM三重」が完成。完成式には、鈴木英敬・三重県知事などが出席。(8/24) ●愛知県が、国際的な自動車貿易港の三河港と、露ウラジオストク港を結ぶ航路の新設を発表。三河港から月1,000台分の自動車部品が輸出される予定。(8/28) ●三重県内の林業関係者が、木質バイオマス発電事業を目的とする「三重エネウッド協同組合」を設立。2014年秋頃から発電事業を開始する予定。(8/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ECBが、スペイン国債などの購入を再開する準備があると発表。国債価格の暴落に歯止めをかけることで、南欧政府の資金調達を支援する狙い。(8/2) ●消費増税法など、社会保障と税の一体改革関連法が成立。現行5%の消費税率は2014年4月に8%、2015年10月に10%まで引き上げられる予定。(8/10) ●日韓両国が領有権を主張している竹島(韓国名・独島)を、韓国の李明博大統領が訪問。同日、野田佳彦首相は、この件について「極めて遺憾」と発言。(8/10) ●国の有識者会議が、静岡県沖から四国、九州沖にある南海トラフで巨大地震が発生した場合の被害想定を発表。推計死者数は最大で32万3,000人。(8/29) ●近畿日本鉄道(大阪府)が、大阪市阿倍野区に建設している高層ビル「あべのハルカス」について、その高さがビルとしては日本一の300mに到達したと発表。(8/30)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●鈴鹿サーキットで、「開場50周年アニバーサリーデー」が2日連続の開催。トークショーや走行イベントが行われるなか、合計6万2,000人が来場。(9/1・2) ●三重県が、中国・上海において「メイド・イン・三重(上海)展示商談会」を開催。製造業など県内企業17社が出展し、現地の大手日系企業を中心に62社が来場。(9/12) ●三重県とタイ投資委員会(BOI)が、産業連携に関する覚書の締結について合意。県内中小企業のタイ進出などを支援するため、連携体制を整えていく方針。(9/14) ●宮城県・金華山から東約900kmの海域で、三重外湾漁業協同組合紀州北支所(紀北町)所属のカツオ一本釣り漁船が、貨物船と衝突。13人が行方不明に。(9/24) ●三菱地所(東京都)が、名古屋駅前に所有する「大名古屋ビルヂング」を建て替えるために閉館。1962年に竣工後、50年の歴史に幕。(9/30) 	<ul style="list-style-type: none"> ●FRBが景気回復に向け、量的緩和第3弾(QE3)を実施すると発表。期限を設けず、毎月400億ドルの住宅ローン担保証券(MBS)を買い入れていく方針。(9/13) ●日本政府による尖閣諸島の国有化を受け、中国の100以上の都市で反日デモが行われ、厳戒態勢のなか、日系自動車メーカーや小売店などが相次ぎ休業。(9/18) ●日本銀行は資産買い入れ基金の上限額について、長期国債分と短期国債分をそれぞれ5兆円引き上げ、80兆円とする追加緩和策を決定。(9/19) ●2011年度補正予算により復活したエコカー補助金の受付が終了。補助金残高の払底を受け、当初の受付期限である2013年2月末から約5か月の前倒し。(9/21) ●米アップルが、スマートフォンの新機種「iPhone5」を米国や日本など世界9か国で同時発売。販売台数は、3日間で500万台超に。(9/21)

フォーカス

三重県が「みえ産業振興戦略」を策定

7月13日、三重県が、現場主義を基盤とする産業政策の展開を目的に、「みえ産業振興戦略」を策定しました。

同戦略の策定にあたり、県では「今後、何を成長産業と位置付け、何で雇用を生み出していくのか?」という点を整理するため、県内外企業1,052社を訪問したほか、三重県と関係が深い企業の経営者などで構成される検討会議を計4回開催し、意見を取りまとめました。具体的な取組には、①ものづくり戦略、②サービス戦略、③海外展開戦略、④成長産業への攻めの取組、⑤戦略的な企業誘致、⑥振興戦略プラットフォームの構築、の6つが掲げられており、三重県は今後、中小企業の付加価値率向上や地域雇用の維持・創出などの課題に取り組んでいく方針です。